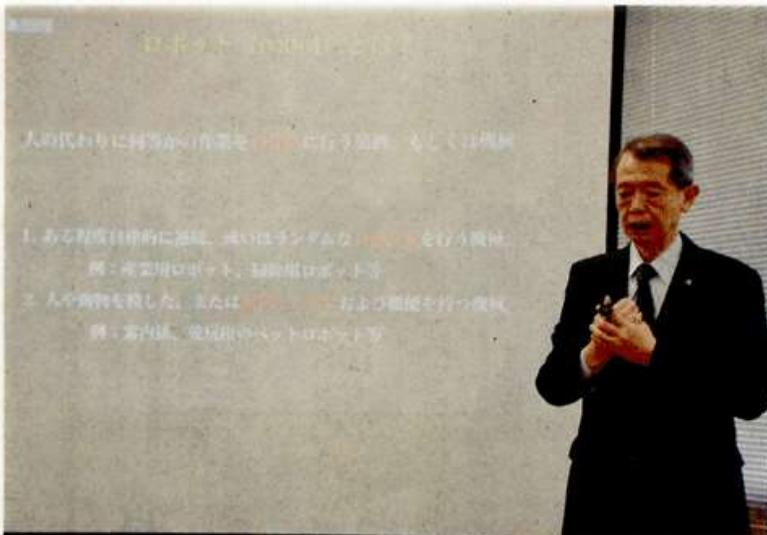


データー東北
2019年(平成31年)1月23日(水曜日)(20)

学科横断型「ロボット工学プログラム」の概要を
説明する関秀廣教授=22日、八戸工業大



地方の技術者養成へ

同大ではこれまで、機械工学と電気電子工学、システム情報工学の3学科で、それぞれロボット工学に関する講義を開いてきた。ただ、AIなどで情報処理をして制御するのはシステム情報工学科、センサーで得た情報を通信して機械を動かすのは電気電子工学科のようには、複数の学科で学ぶ知識や技術を総合的に生か

八戸工業大(長谷川明学長)は22日、ロボット技術に関する学問を学科横断的に履修する「ロボット工学プログラム」を2020年度に開設すると発表した。人工知能(AI)やIOT(モノのインターネット)などが急速に発

展する中、地方で活躍できるロボット技術者を養成するのが狙い。新しい学科は開設せず、履修を希望する学生は既存の複数学科で専門の講義を受け、知識と技術の習得を目指す。

(須田山裕太)

同大で同日開かれた記者会見で、長谷川学長とプログラムのリーダーを務める電気電子システム学科長の関秀廣教授が明らかにした。

さなければならない。
ロボットは今後、介護や農業などさまざまな分野での活用が期待される。より高度で専門的な技術を持つ人材の育成に対応するため、学生が関連科目を一体的に学べる環境を整備する。プログラムに参加できるのは20年度に入学する1

年生からで、現時点で定員は未定という。長谷川学長は「ロボットに携わる技術者が不足しているといわれる。地域の大學生が関連科目を一緒に学んで知識を持った技術者を社会に送り出し、地域貢献をしていきたい」とプログラム開設の意義を強調した。

ロボット工学 学科越え 20年度八工大が新プログラム